

第5学年 国語科学習指導案

児童 5年2組 男子9名 女子12名
指導者 佐藤健太

説明のしかたについて考えよう

中心教材 「天気を予想する」(光村図書5年)

<指導事項>

- ◎目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりすること。(読むウ)
- ◎本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。(読むオ)
- ◎文章の中での語句と語句との関係を理解すること。(伝国イ(オ))

<言語活動>

- ◎表やグラフを使った文章を書くコツをまとめる

1. 教材について

- ・全体を覆う一つの大きな問いはなく、一つの問いに対する答えの中から新たな問いが生まれるという関連性をもって、問いと答えがくり返される。そして、読み手の思考の流れに沿いながら、自分の主張へと徐々に論の方向性を近づけるような構成となっている。
- ・表・写真・グラフなどが効果的に用いられており、説明のしかたの工夫について考えるのにふさわしい教材である。
- ・尾括型の展開で、以下のような構成になっている。

構成	段落	要 点
話題提示と第一の問い	①	的中率は、どうして高くなったのか。
第一の問いの答え	②③	科学技術の進歩と国際的な協力の実現により、的中率が高まった。
第二の問い	④	さらに科学技術が進歩し、国際的な協力関係が進めば、天気予報は、百パーセント的中するようになるか。
第二の問いの答え	⑤⑥	突発的な天気の変化と局地的な天気の変化により、予測することがむずかしい。
第三の問い	⑦	突発的・局地的な天気の変化を予想する手立てはないか。
第三の問いの答え	⑧⑨	実際に自分で空を見たり、風を感じることや天気に関することわざが、突発的・局地的な天気の変化を予想するのに役立つ。
結 論	⑩	科学的な天気予報を一つの有効な情報として活用しながら、自分でも天気に関する知識をもち、自身で空を見、風を感じることを大切にしたいものだ。

2. 児童について

児童は、第5学年の説明文「見立てる」「生き物は円柱形」において、文章構成図を書いたり、筆者の主張を入れて要旨を書いたりする学習をし、さらに、学んだ要旨を書く視点を生かして、既習教材である第4学年の説明文「かむことの力」の要旨を書く活動(再読・リライト)を行った。ほとんどの児童は、筆者の考えが書かれてある場所を見つけ、それを要旨に入れることができている。

3. 指導にあたって

- 第1次では、単元名やリード文を確認し、学習計画を立てて見通しを持つ。また、言語活動として、「表やグラフを使った文章を書くコツをまとめる」に設定し、目的意識を持たせる。
- 第2次では、まず、文章構成図を作成し、構成や筆者の考えをとらえ、論の進め方の工夫を読み取る。そして、表とグラフが用いられた段落に着目し、それら資料と書かれている内容を関連付けて読み取る。
- 第3次では、2次で行った、文章と表・グラフの関連の読み取りを深めるために、伝えたいことの根拠をグラフから読み取る活動（再読）を行う。

4. 単元の目標

- 前半部分と後半部分の書かれ方の違いに着目し、筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。
- 筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について感想を発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。

5. 単元の評価規準

- 【関】単元の学習の見通しを持ち、図・表を使った文章に興味・関心を持って読もうとしている。
- 【読】筆者が事例、理由や根拠として挙げている事実を読み取っている。(1)ウ
- 【言】語と語の関係に気をつけて、文の意味をとらえている。(1)イ(オ)

6. 単元指導計画（全6時間）

段階	ねらい	時間	学習活動 (言語活動も含む)	評価規準と評価方法	言語 活動
見通す	・単元の見通しを持つことができる。	1	・「天気を予想する」を音読する。 ・学習計画を立て、見通しを持つ。	【関】単元の学習の見通しを持ち、興味・関心を持って文章を読んでいる。＜観察＞	表やグラフを使った文章を書くコツをまとめる。
深める	・筆者の考えや、文章と表やグラフの関連を読み取ることができる。	4	・文章構成図を書き、文章構成や筆者の考えを読み取る。(1)	【読】文章構成や筆者の考えをとらえている。＜ワークシート記述、観察＞	
			・筆者の論の進め方の工夫を読み取る。(1)	【読】筆者の論の進め方の工夫を読み取っている。＜ワークシート記述、観察＞	
			・文章に書かれている内容と表に表されている内容を関連付けて読み取る。(1)	【読】文章と表から筆者の伝えたいことを読み取っている。＜ワークシート記述、観察＞	
			・文章に書かれている内容とグラフに表されている内容を関連付けて読み取る。(1)	【読】文章とグラフから筆者の伝えたいことを読み取っている。＜ワークシート記述、観察＞	
使う	・文章とグラフとの関連の読み取ることができる。	1	・筆者が伝えたいことの根拠をグラフから読み取る。 ※再読 本時	【読】文章とグラフとの関連を読み取っている。＜ワークシート記述、観察＞	

6. 本時の指導（6/6）

（1）ねらい

- ・伝えたいことと表やグラフとの関連を読み取ることができる。

（2）展開

段階	学習活動・学習内容	支援及び留意点
見通す 5分	1、前時までの学習を想起する。 2、課題を確認する。 伝えたいことをうらづける事実を表やグラフから読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習で、文章に書かれている内容と表やグラフに表されている内容を関連付けて読み取ってきたことを確認する。 ・「久慈市のごみ事情は深刻（大変）である」ということを伝えるために、グラフを用いて、そこからうらづける事実を読み取っていくことを確認する。
深める 35分	3、伝えたいことをうらづけるための事実をグラフから読み取る。 4、学び合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝えたいことを裏付けるための事実を読み取る」という視点を持って、表やグラフから必要な事実を読み取らせる。 ・事実を読み取るだけでなく、伝えたいことをうらづけている理由も書き込ませる。 ・「表やグラフのどこに注目し、何を読み取ったのか」「伝えたいことをうらづけている理由」などの視点で読み合わせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><評価></p> <p>A 伝えたいことをうらづける根拠を表やグラフから読み取り、裏付けている理由を示すことができる。</p> <p>B 伝えたいことをうらづける根拠を表やグラフから読み取ることができる。</p> <p>Cへの支援</p> <p style="padding-left: 20px;">グラフから読み取れる事実をいくつか示して、伝えたいことをうらづける事実を選ばせる。</p> </div>
まとめる 5分	5、学習のまとめをする。 5、学習の振り返りをする。 6、次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと学び合いで出た意見を比較検討し、伝えたいことをうらづける事実とその理由をワークシートに書きまとめさせる。 ・「伝えたいことをうらづける事実を表やグラフから読み取ることができたか」という視点で振り返らせる。 ・次單元では、自分で決めたテーマについて、表やグラフを用いて書くことを確認する。